

謹賀新年

※(株)古城 66周年ロゴマーク

あけましておめでとうございます。平成30年を迎えました。旧年中は大変お世話になりまして、誠に有難うございました。この一年が、皆様にとりまして健やかで輝かしい一年でありますことを心からお祈り申し上げます。

弊社はこの春に若き新卒学生を5名迎えます。社内の平均年齢も30歳台前半になります。彼らを鍛えながら、そして全社がさらに一つになって、皆様方へのお役立ち活動をITを起点に邁進してまいります。本年も何卒お引き立てのほど宜しく願い申し上げます。



今年の年男は、佐藤課長と團塚課長補佐です。



■株式会社古城66周年ロゴ「テーマ：スピード&パッション」
情熱の赤色とオレンジ色をベースに、「KOJOH」の頭文字「K」を毛筆風に描くことでさらにスピード感、躍動感を表現しました。

代表取締役 古城 一

AED講習会



先日、リコージャパン様講師によるAED(自動体外式除細動器)の講習会を受けました。弊社でも取り扱っているAED、心肺蘇生と機器の使用についての講習会で、社員全員で受講しました。

日本では年間約7万人が心臓の異常による心臓突然死で亡くなっている事実や、身近に潜む緊急事態にはどのような種類があるのか、そしてAEDの有効性や使用方法などについて説明を受けました。

最後にダミー人形を用いて、実際に倒れている人を発見してから救急車がくるまでの間に、どのような事をすれば良いのか救命処置の流れを訓練しました。

AEDの使い方以外に傷病者の反応の確認方法や胸骨圧迫の方法なども行いましたが、実際にやってみると非常に難しく、このような訓練や講習会は定期的に参加し、万が一のときに備えておくことが大事だと思いました。

Appleから「iPhoneのバッテリーとパフォーマンス」対応施策が発表

iPhoneのバッテリーとパフォーマンスについて。



AppleからiPhone6以降のバッテリー交換が希望者全員対象で開始されることが発表されました。

非正規品バッテリーでなければ、希望するユーザー全てを対象に提供されるようです。

気になる金額ですが、iPhone本体保証およびAppleCare+による延長保証期間内であれば無償交換対象となり、そうでない場合は3200円(税抜)となるようです。

今回の対応は、2018年12月まで全世界で継続されるため、バッテリーの持ちがわるくなったiPhone利用者にとっては良いニュースではないでしょうか。

この対応となった経緯には、iPhoneシリーズの旧モデルで、iOSのアップデートで動作速度を意図的に減速させたことや、それを開示しなかったことがあります。バッテリーとパフォーマンスの因果関係について、Appleが公式HPにてアナウンスしています。(https://www.apple.com/jp/iphone-battery-and-performance/)

これら内容を踏まえ、Appleは正式に謝罪し、信頼回復に向け今回の対応を発表しました。

大企業でも騙される!メール詐欺の手口!!

年末に大きな事件が起こりました。日本航空(JAL)が「偽メールにだまされ」、3億8000万円もの被害を受けたというニュースです。今回のビジネスメール詐欺は、これまでの迷惑メールとは比べものにならないレベルの巧妙さで行われた詐欺でした。

詐欺師は取引先とのメールをハッキングし、メール内容を確認し、支払い手順や契約内容を学んだうえで、アドレス1字違いのメールアドレスで送信していました。

メールを受け取った担当者は、取引先のメール文面と契約内容が一致していることを確認し、他の社員によるダブルチェックも行っていたのですが、偽のメールであるということが確認できず、口座に送金してしまったということです。

実はこのようなケースの詐欺は年々増加傾向にあるようです。海外機関と連携し、注意喚起を行っている日本サイバー犯罪対策センター(JC3)によれば、多くの組織において仕事納めも間近な12月27日に、発注書のやりとりに見せかけ、添付ファイルでマルウェア(コンピュータウイルス)を送りつける攻撃が複数確認されています。

詐欺メールの内容は、件名に「〇〇月度発注書送付」などと記載されたメールが送信されており、本文には、「〇〇月度の発注書を添付資料にてお送りさせていただきます」などと記載されているものが多い傾向にありました。また、「Re: 〇〇月度発注書送付」「Fwd: 〇〇月度発注書送付」など、あたかも返信や転送されたメールに見せかけるケースも確認されています。こういった詐欺メールを誤って開いてしまった場合は、PCがマルウェアに感染し、自分の送受信したメールの内容が、第三者に盗み見られてしまう可能性があります。

長期休暇の時期は、「システム管理者が長期間不在になる」、「友人や家族と旅行に出かける」等、いつもとは違う状況になりやすく、ウイルス感染や不正アクセス等の被害が発生した場合に対処が遅れてしまったり、SNSへの書き込み内容から思わぬ被害が発生したり、場合によっては関係者に対して被害が及ぶ可能性があります。身に覚えのない「発注書」の中身はもしかすると、マルウェアのついた詐欺メールかもしれません。メールは慌てて開かないよう、ウイルスチェックをするなど、あらためて注意の意識づけが必要です。